



かみつけの里古墳祭り
古墳時代の装束で「王の儀式」を再現



上野国分寺まつり
優雅な雰囲気を出す天平衣装



みのわの里のきつねの嫁入り
きつねの化粧に婚礼衣装でまちを練り歩く



箕輪城まつり
手作り甲冑を身に付けて気分は戦国時代



子ども忍者も登場



高崎マーチングフェスティバル
そろいのユニフォームと息の合った演奏で観客を魅了



練習の成果を披露



たかさき雷舞フェスティバル
個性的な衣装をまとって華麗に踊る

その3 あんしん見守りシステム

24時間365日体制で見守り。高齢者の孤独死を防ぎます

問い合わせ先＝介護保険課(☎027-321-1250)か
各地域の高齢者あんしんセンター

またお年寄りの孤独死が...

一人暮らしの母さんが心配だなあ

長時間、お母様の動きが感知されていません

センターの職員がすぐに向かいます!

すぐに行けないのですが、どうしよう...

そんな時はあんしん見守りシステムで解決!
自宅に設置したセンサーで見守ります!

大事にならなくて本当によかった

センサーがあって助かったわ

大丈夫ですか! 救急車を呼びます!

●対象＝市内に在住の65歳以上だけの世帯(同居の家族がいる場合でも、条件により対象になります)
●費用＝無料

写真で振り返る

高崎の10月を華やかに彩った“衣装”たち

市内各地でさまざまなイベントが行われた10月。会場の雰囲気を上げるために欠かせない要素の一つが、参加者が身に付ける「衣装」です。今回は、この衣装に注目してイベントを紹介。歴史を感じさせる古風な装束から現代的なデザインまで、衣装の数々をご覧ください。

市のYouTube公式チャンネルで各イベントの動画を公開しています▶



センサーと2種類の通報装置。
3つの機器で高齢者を見守ります



安否確認センサー

居間やトイレなど必ず通る場所に設置。一定時間人の動きを感知しない場合は、見守りセンターに異常を知らせます



据え置き型緊急通報装置

台所や居間などに置きます。「非常ボタン」を押すと、見守りセンターにつながります



ペンダント型緊急通報ボタン

首から下げて身に着けられます。ボタンを押すと見守りセンターに異常を知らせます



センサーが命を救ってくれました

山口 英俊さん(左)と母のはるみさん

江木町の山口はるみさんは、今年の夏、夜トイレに立った時に倒れ、動けなくなってしまったそう。一定時間センサーが反応しなかったことで、見守りセンターから連絡を受けた息子の英俊さんが急行。救急車を呼ぶことができたそうです。はるみさんは脱水症状を起こしていましたが、入院を経て無事回復しました。「センターから息子への電話1本が、私の命を救ってくれました」とはるみさん。「母を見守ってくれるこのシステムは本当に助かりますね。これからも安心です」と英俊さんも話します。